

～ KIX 節電プラン 2011 ～

公害のない環境に配慮した「環境フレンドリー」な空港として造られた関西国際空港では、これまでも、環境負荷の少ない「エコ愛ランド」として省エネに努め、空調システムの改良や太陽光発電設備の設置等によって、開港以来今日までに約 20%の省エネを達成してきました。また、2008 年度には「エコ愛ランド推進計画」¹を策定するとともに、43 の事業者からなる「関西国際空港エコ愛ランド推進協議会」²のもと、KIX 全体が一丸となった取り組みを進めてきました。

今般の東日本大震災を受けた電力需給の逼迫という状況に鑑み、関西国際空港株式会社及びグループ会社、さらには、空港島内事業者が一丸となり、様々な取り組みを行い使用電力の抑制に積極的に取り組んでまいります。

- 1 エコ愛ランド推進計画：快適な地球環境を守り、負荷の少ない空港に向けた取り組みを継続・発展させていくために策定した計画です。
- 2 関西国際空港エコ愛ランド推進協議会：関西国際空港におけるこれまでの環境への取り組みの輪をさらに広げ、空港内事業者の方々と力を合わせ、「エコ愛ランド推進計画」を進めていくことを目的として、2009 年 3 月に設立した組織です。

【KIXでの取組】

1. 実施日時

2011 年 7 月 1 日(金)から順次実施します。

2. 主な実施内容

(1) 電力需給状態に応じた旅客ターミナルビルの夏季設定温度の管理運用

関西電力の電力需給逼迫時には、旅客ターミナルビルの冷房温度を例年より

- 1 高い 27 を上限として管理運用します。

(2) 旅客ターミナルビルの照明の LED 化など

旅客ターミナルビル内のダウンライト約 1,000 個を LED(発光ダイオード)照明

24 時間、こころ動かす空港

KIX
KANSAI INTERNATIONAL AIRPORT

節電のお知らせ
Notice to Saving Electricity

当空港でも節電に協力しております。

そのため、一部の照明やエスカレーター等を停止させていただきます。

皆様にご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いします。



関西国際空港株式会社
Kansai International Airport Co., Ltd.

に取り替えます。

また、立体駐車場の蛍光灯約 1,700 灯を、Hi 蛍光灯(インバーター内蔵の節電照明器具)に取り替えます。

(3) 旅客ターミナルビルへの外気取り入れファンの節電化

旅客ターミナルビルの換気を行っている外気取り入れファンにインバーターを付加し、必要換気量に応じた最適な運転を行うことで節電を図ります。

(4) その他の施策

空港駅から旅客ターミナルビルへのコンコースと、ウイングシャトル(AGT)本館駅にドライミスト装置を設置し、また、道路に中水(再利用水)を使った打ち水を行うことで、少しでも涼感を提供します。

南北ウイングの AGT について、お客様の集中しない時間帯において運転間隔を間引く試行を行います。

代替手段があるエスカレーターの運転を停止するとともに、一部の動く歩道を停止します。また、トイレのエアータオルも停止します。

旅客ターミナルビルのエスカレーター照明の間引きや、照明設備に昼光、人感センサーを設置します。道路照明も直線部などは約半数間引きします。

AGT 車両屋根及び窓へ遮熱塗料を塗布し、空調の節電を行います。

オフィスについては、冷房温度 28 度の徹底を行うとともに、執務室内の照明も間引きします。また、従業員専用のバックヤードの通路などの照明も間引きします。

参考) 関西空港会社ビル

オフィス照明の 50%、廊下照明の 80%、2,000 本の蛍光灯を消灯。

4 台中 2 台のエレベーターの停止。

3. 島内全事業者をあげての節電の取り組み

当社グループをあげた CR 活動の継続はもとより、島内 43 の事業者からなる「関西国際空港エコ愛ランド推進協議会」のもとで、KIX 全体が一丸となり節電への取り組みを行ってまいります。

4. 節電効果

2. の取り組みによって約 700kWh(電力需給逼迫時には約 1,200kWh)の節電を行います。

【当社が使用した昨夏の使用最大電力約 17,000kWh の約 4%(電力需給逼迫時には約 7%)に相当】